

# 健康経営優良法人2022ホワイト500認定について

## 【健康経営優良法人ホワイト500認定】

2022年3月9日、大分キャノンは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2022（大規模法人部門（ホワイト500））」に選定されました。

「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。特に、ホワイト500は上位500社に入った企業に与えられる名誉ある称号です。

今回大分キャノン・長崎キャノン・宮崎キャノンの3社で認定に向けて取り組んだ結果、厳しい認定基準に合格し、大分キャノンと長崎キャノンがホワイト500の認定を受けることができました。



## ＜大分キャノンの健康管理に対する取り組み＞

大分キャノンは、2019年に健康経営ダントツ宣言を出し、健康経営に取り組んできました。

健康づくり責任者である増子社長は、「健康第一主義」「三自の精神」の行動指針に基づき、社員が健康管理に取り組むことができ、安心して働ける環境を提供すること、そしてキャノングループNO.1の健康経営を目指すことで、生産性の向上につながり、社員一人ひとりが「健康で働ける幸せ」を実感できる会社にすることを宣言しています。

健康経営とは、社員の健康増進に取り組むことが企業の業績や企業価値向上につながるという考え方です。

健康は個人の問題ではなく職場全体で取り組むものと考え、健康への取り組みを職場全体で活性化させていくことが健康経営を推進することになります。

「健康8箇条」を日々実践し、健康で生産性の高い職場づくりに社員全員で取り組みます。

